



平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月8日
上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 サンゲツ
コード番号 8130 URL <http://www.sangetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
定時株主総会開催予定日 平成25年6月26日
有価証券報告書提出予定日 平成25年6月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 日比 祐市
(氏名) 上原 健
配当支払開始予定日

TEL 052-564-3331
平成25年6月27日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	123,150	3.9	8,020	13.0	8,393	16.9	4,806	15.8
24年3月期	118,518	5.7	7,095	△0.9	7,180	△4.6	4,151	△2.2

(注) 包括利益 25年3月期 5,737百万円 (32.4%) 24年3月期 4,334百万円 (9.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年3月期	120.52	—	4.1	6.0	6.5
24年3月期	103.46	—	3.5	5.1	6.0

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 一百万円 24年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	139,205	117,672	84.5	3,088.53
24年3月期	142,247	119,409	83.9	2,976.09

(参考) 自己資本 25年3月期 117,672百万円 24年3月期 119,409百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期	4,311	3,591	△7,506	12,957
24年3月期	422	△209	△3,198	12,425

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00	3,009	72.5	2.5
25年3月期	—	37.50	—	40.50	78.00	3,047	64.7	2.6
26年3月期(予想)	—	37.50	—	37.50	75.00		—	

(注) 25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 37円50銭 記念配当 3円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	61,700	4.1	3,550	10.0	3,700	19.6	2,150	7.9	56.43
通期	129,000	4.7	9,100	13.5	9,400	12.0	5,500	14.4	144.36

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料13ページ「連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期	40,188,240 株	24年3月期	40,188,240 株
② 期末自己株式数	25年3月期	2,088,431 株	24年3月期	65,426 株
③ 期中平均株式数	25年3月期	39,878,888 株	24年3月期	40,123,063 株

(参考) 個別業績の概要

平成25年3月期の個別業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	106,089	3.9	7,677	14.8	7,732	14.3	4,283	11.2
24年3月期	102,129	5.1	6,685	△5.4	6,766	△8.8	3,852	△8.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期	107.41	—
24年3月期	96.01	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	134,189	117,225	87.4	3,076.80
24年3月期	137,541	119,500	86.9	2,978.36

(参考) 自己資本 25年3月期 117,225百万円 24年3月期 119,500百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
なお、予想については添付資料の2～4ページの「1. 経営成績・財政状態に関する分析」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 経営方針	5
(1) 会社の経営の基本方針	5
(2) 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題	5
4. 連結財務諸表	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(連結損益計算書)	8
(連結包括利益計算書)	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(連結貸借対照表関係)	13
(連結損益計算書関係)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

当期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）のわが国経済は、欧州の財政不安や新興国経済の足踏み、円高の長期化などにより先行き不透明な状況で始まりましたが、後半には東日本大震災後の復興需要、経済対策や金融政策の効果による円高修正、株価上昇などを背景に、景気回復への持ち直しの動きが感じられるようになりました。

住宅市場では、住宅ローン減税等の住宅取得支援政策の効果もあり、月次の新設住宅着工戸数は4月以降前年を下回ったのは3か月のみで、年間累計は前年比6.2%増となりました。年度では3年連続の増加となり、堅調な回復傾向が続きました。

近年、高齢化やワークライフバランスの尊重などにより、安全快適な住空間への関心が従来以上に高まっております。当社グループはそうした要望に応え、品質やデザインに優れた商品の提案により暮らしに彩りを提供し、また、環境負荷低減商品、各種機能性商品などを開発し、新築のみならずリフォーム市場や非住宅市場への販路拡大など幅広く営業活動を展開いたしました。

これらの結果、当期の連結業績は、売上高123,150百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益8,020百万円（同13.0%増）、経常利益8,393百万円（同16.9%増）、当期純利益4,806百万円（同15.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(インテリア事業)

インテリア事業では、本社ショールームに併設するモデルルームを9年ぶりに全面改装し、平成24年6月にリニューアルオープンいたしました。新たなモデルルームでは、LED照明を本格導入するとともに、カスタマイズできる部屋を新設し、より具体的な商品選びを可能とする空間としました。

壁装材では、平成24年4月に中間価格帯の商品を収録した見本帳「リザーブ1000」を改訂し、収録品は全てシックハウス規制の最上位認定品として発売しました。また、平成25年2月に好評を博している見本帳「EBクロス」を改訂発行しました。「EBクロス」は、付着した汚れの拭き取り易さ、キズの付き難さ、貼替え時の剥がし易さなどが特長であり、また、厚生労働省が室内濃度指針値を設定している13化学物質を使用せず、より安全な室内環境を提供します。

カーテンでは、平成24年10月に教育、公共施設や医療福祉施設などに最適な全点難燃商品の見本帳「コントラクトカーテン vol. 8」を発行しました。昨今インフラ整備が強化されている医療機関での使用環境を考慮した「メッシュ体型カーテン」をはじめとした「メディカルカーテン」を拡充するなど、さまざまなシーンでニーズに合った商品を選べるラインナップとしています。

床材では、平成24年5月に主に戸建住宅やアパート、マンションで用途に応じてご利用いただけるクッションフロア「住宅用」を、6月に「各種施設用」を発売しました。また、7月には、住宅やオフィス、商業施設をはじめ文教、医療福祉施設など幅広い用途に対応するカーペットタイルの新見本帳「NT」と「DT」を発行しました。

その他既発行の見本帳収録商品の拡販にも努めた結果、インテリア事業における売上高は106,089百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は7,677百万円（同14.8%増）となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンでは、企業間競争の激化などにより厳しい状況が続いておりますが、販売促進キャンペーンの拡大など積極的な営業活動を積み重ねております。

これらの結果、エクステリア事業における売上高は13,226百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は344百万円（同25.3%増）となりました。

(照明器具事業)

照明器具事業を担う山田照明株式会社においても、企業間の競争は激しさを増しております。節電対策需要への取組みや、可動式アームスタンド「Zライト」などLED照明の拡販に注力しましたが、照明器具事業の売上高は3,845百万円（前年同期比6.2%減）、営業損失は3百万円（前年同期は営業利益132百万円）となりました。

②次期の見通し

住宅市場を取り巻く環境は、政府の景気刺激政策や消費増税前の前倒し需要などを背景に、新設住宅着工戸数が増加傾向で推移しておりますが、一方で、壁紙、床材等塩化ビニール製品の主原料のひとつである原油価格も上昇傾向にあり、利益圧迫要因として懸念されます。

このような状況のもと、当社グループは引き続き良品廉価を貫くとともに、環境に配慮し、変化する消費者ニーズに沿った商品開発、市場の深耕開拓、販路の拡大、ITの積極的な活用等によるきめ細かな営業展開を行ってまいります。

以上により、次期の連結業績見通しは、売上高129,000百万円、営業利益9,100百万円、経常利益9,400百万円、当期純利益5,500百万円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

当期末における総資産は139,205百万円となりました。また、負債は21,532百万円、純資産は117,672百万円となり、自己資本比率は84.5%となりました。

また、現金及び現金同等物は、12,957百万円となりました。

その内訳といたしまして、営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは4,311百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益を7,712百万円計上したことによる収入、法人税等の支払額2,640百万円による支出などを反映したものです。

投資活動の結果得られたキャッシュ・フローは3,591百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,252百万円などがあったものの、投資有価証券の償還、売却と新規取得との差額収入4,422百万円などがあったことを反映したものです。

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは7,506百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出4,464百万円、配当金の支払額3,009百万円などによるものです。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは、以下のとおりであります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	21年 3 月期	22年 3 月期	23年 3 月期	24年 3 月期	25年 3 月期
自己資本比率 (%)	86.2	85.8	85.0	83.9	84.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	62.7	62.3	55.7	61.7	69.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,819.0	2,564.0	1,217.4	131.8	1,470.9

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

※ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

※ 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

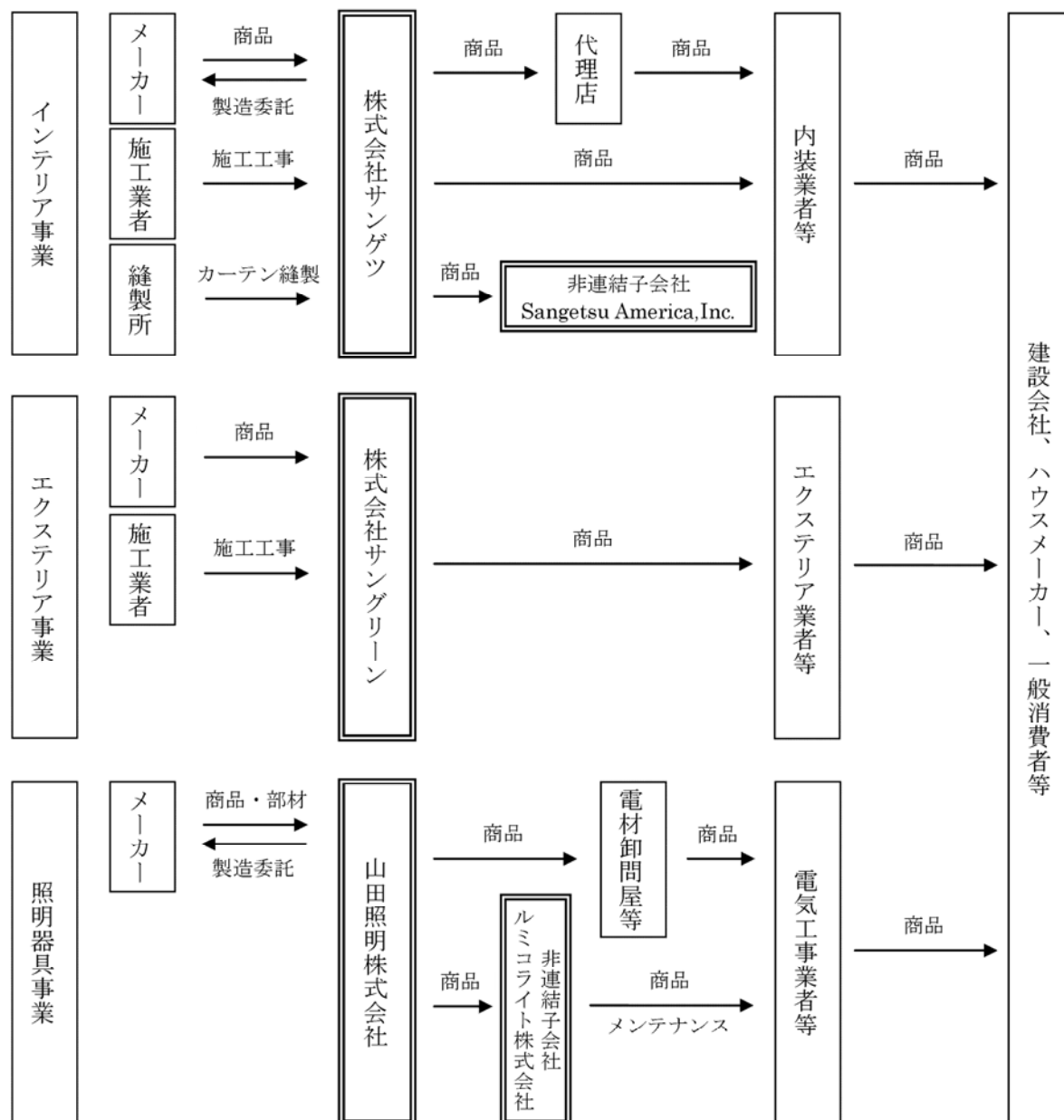
利益配分につきましては、経営の安定、業績の継続的向上を基本として、株主の皆様への安定的配当の維持を図ると同時に配当性向、純資産配当率にも意を用いつつ、将来に向けて会社基盤を強化し、不測の事態に対応できるよう内部留保に努めております。

この方針のもと、当期の期末配当金につきましては、1株当たり37.5円の普通配当に加え、昭和28年4月の会社設立以来、今年が60周年にあたりますことを記念し、1株につき3円の記念配当を予定しております。中間配当1株当たり37.5円と合わせた年間配当金は1株当たり78円、連結での配当性向は64.7%となります。

また、次期の配当金につきましては、1株当たり中間配当37.5円、期末配当37.5円、年間75円を予定しております。

2. 企業集団の状況

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社及び子会社4社で構成され、その主な事業内容と当社及び関係会社の当該事業に係る位置付けは次のとおりであります。



3. 経営方針

（1）会社の経営の基本方針、（2）中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題

以上の項目につきましては、平成23年3月期決算短信（平成23年5月11日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため、開示を省略しております。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

（当社ホームページ）

<http://www.sangetsu.co.jp/>

（東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ））

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

4. 連結財務諸表
(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,077	22,919
受取手形及び売掛金	43,760	42,886
有価証券	24,511	20,007
商品及び製品	8,613	10,160
原材料及び貯蔵品	1,559	1,454
繰延税金資産	654	688
その他	386	322
貸倒引当金	△195	△161
流動資産合計	98,368	98,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,141	23,160
減価償却累計額	△16,766	△16,830
建物及び構築物（純額）	6,374	6,329
機械装置及び運搬具	10,295	10,258
減価償却累計額	△9,159	△9,348
機械装置及び運搬具（純額）	1,136	910
工具、器具及び備品	2,891	2,960
減価償却累計額	△2,534	△2,613
工具、器具及び備品（純額）	356	347
土地	19,613	20,243
リース資産	42	42
減価償却累計額	△24	△27
リース資産（純額）	18	14
建設仮勘定	344	20
有形固定資産合計	27,843	27,865
無形固定資産		
その他	363	328
無形固定資産合計	363	328
投資その他の資産		
投資有価証券	3,363	4,619
長期貸付金	198	168
繰延税金資産	939	499
その他	11,827	8,298
貸倒引当金	△655	△853
投資その他の資産合計	15,672	12,732
固定資産合計	43,879	40,926
資産合計	142,247	139,205

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当連結会計年度 (平成25年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,476	12,355
短期借入金	22	20
1年内返済予定の長期借入金	21	24
リース債務	7	7
未払法人税等	1,981	2,182
賞与引当金	951	954
その他	2,379	2,269
流動負債合計	18,839	17,813
固定負債		
長期借入金	140	115
リース債務	10	2
退職給付引当金	2,413	2,629
役員退職慰労引当金	74	79
長期未払金	941	418
その他	417	472
固定負債合計	3,998	3,718
負債合計	22,838	21,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	85,348	87,146
自己株式	△122	△4,587
株主資本合計	118,848	116,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	561	1,492
その他の包括利益累計額合計	561	1,492
純資産合計	119,409	117,672
負債純資産合計	142,247	139,205

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	118,518	123,150
売上原価	84,742	88,614
売上総利益	33,775	34,536
販売費及び一般管理費	26,679	26,516
営業利益	7,095	8,020
営業外収益		
受取利息	48	38
受取配当金	55	69
不動産賃貸料	120	90
為替差益	—	63
その他	182	174
営業外収益合計	407	435
営業外費用		
支払利息	2	2
不動産賃貸費用	11	2
為替差損	286	—
その他	20	57
営業外費用合計	321	62
経常利益	7,180	8,393
特別利益		
固定資産売却益	0	0
その他	—	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	19	53
投資有価証券売却損	0	84
投資有価証券評価損	5	—
下請代金返還金	—	538
減損損失	134	—
その他	5	2
特別損失合計	165	681
税金等調整前当期純利益	7,015	7,712
法人税、住民税及び事業税	3,071	2,848
法人税等調整額	△207	57
法人税等合計	2,864	2,905
少数株主損益調整前当期純利益	4,151	4,806
当期純利益	4,151	4,806

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	4,151	4,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	183	930
その他の包括利益合計	183	930
包括利益	4,334	5,737
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,334	5,737

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	13,616	13,616
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	13,616	13,616
資本剰余金		
当期首残高	20,005	20,005
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	20,005	20,005
利益剰余金		
当期首残高	84,207	85,348
当期変動額		
剰余金の配当	△3,009	△3,009
当期純利益	4,151	4,806
当期変動額合計	1,141	1,797
当期末残高	85,348	87,146
自己株式		
当期首残高	△122	△122
当期変動額		
自己株式の取得	△0	△4,464
当期変動額合計	△0	△4,464
当期末残高	△122	△4,587
株主資本合計		
当期首残高	117,707	118,848
当期変動額		
剰余金の配当	△3,009	△3,009
当期純利益	4,151	4,806
自己株式の取得	△0	△4,464
当期変動額合計	1,141	△2,667
当期末残高	118,848	116,180

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	377	561
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	183	930
当期変動額合計	183	930
当期末残高	561	1,492
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	377	561
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	183	930
当期変動額合計	183	930
当期末残高	561	1,492
純資産合計		
当期首残高	118,084	119,409
当期変動額		
剰余金の配当	△3,009	△3,009
当期純利益	4,151	4,806
自己株式の取得	△0	△4,464
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	183	930
当期変動額合計	1,324	△1,736
当期末残高	119,409	117,672

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,015	7,712
減価償却費	1,151	1,031
減損損失	134	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△55	163
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△164	—
受取利息及び受取配当金	△103	△107
支払利息	2	2
為替差損益 (△は益)	214	△135
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,095	873
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,856	△1,441
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,269	△1,120
長期未払金の増減額 (△は減少)	△11	△523
その他	808	373
小計	3,309	6,828
利息及び配当金の受取額	147	126
利息の支払額	△3	△2
法人税等の支払額	△3,031	△2,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	422	4,311
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,891	△11,041
定期預金の払戻による収入	10,921	10,731
有形固定資産の取得による支出	△439	△1,252
有形固定資産の売却による収入	13	224
無形固定資産の取得による支出	△58	△44
投資有価証券の取得による支出	△24,591	△20,206
投資有価証券の償還による収入	25,000	24,500
保険積立金の積立による支出	△748	△370
保険積立金の解約による収入	788	914
その他	△203	134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△209	3,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△182	△21
自己株式の取得による支出	△0	△4,464
配当金の支払額	△3,009	△3,009
その他	△5	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,198	△7,506
現金及び現金同等物に係る換算差額	△214	135
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,200	532
現金及び現金同等物の期首残高	15,519	12,425
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	106	—
現金及び現金同等物の期末残高	12,425	12,957

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(連結貸借対照表関係)

1 非連結子会社に対するものは、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
投資有価証券(株式)	118百万円	118百万円

2 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
建物及び構築物	117百万円	110百万円
土地	710	710
計	827	821

担保付債務は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
買掛金	153百万円	166百万円
1年内返済予定の長期借入金	21	24
長期借入金	140	115
計	316	306

3 連結会計年度末日満期手形

連結会計年度末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当連結会計年度の末日は金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
受取手形	1,487百万円	1,614百万円
支払手形	244	221

(連結損益計算書関係)

一般管理費に含まれる研究開発費

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
	125百万円	91百万円

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業会社ごとに取扱商品やサービスが異なっており、「インテリア事業」は当社が、「エクステリア事業」は株式会社サングリーンが、「照明器具事業」は山田照明株式会社が、それぞれ展開しています。各社はグループとして必要な情報を共有し、販売上の協力体制を取りながら、個々に戦略を立案して事業活動を行い、当社取締役会では各事業会社から受けた経営成績、財務情報の報告を基礎として、意思決定や業績評価を行っております。

したがって、当社グループは事業会社単位を基礎としたセグメントから構成されており、「インテリア事業」、「エクステリア事業」、「照明器具事業」の3つを報告セグメントとしております。

「インテリア事業」は壁装材、カーテン、床材等のインテリア商品を、「エクステリア事業」は門扉、フェンス、テラス等のエクステリア商品を、「照明器具事業」はダウンライト、Zライト等の一般照明器具を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書（平成24年6月27日提出）により開示を行った「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

(単位：百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	102,129	12,290	4,098	118,518	—	118,518
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	0	3	△3	—
計	102,129	12,293	4,098	118,521	△3	118,518
セグメント利益	6,685	274	132	7,092	2	7,095
セグメント資産	135,292	6,067	1,762	143,121	△874	142,247
その他の項目						
減価償却費	1,100	26	20	1,147	△0	1,146
のれんの償却額	—	40	—	40	—	40
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	638	44	20	703	△0	702

(注) 1. セグメント利益、セグメント資産及びその他の項目の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用と同費用に係る償却額が含まれております。

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

（単位：百万円）

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	106,089	13,226	3,834	123,150	—	123,150
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	10	10	△10	—
計	106,089	13,226	3,845	123,161	△10	123,150
セグメント利益又は 損失（△）	7,677	344	△3	8,018	1	8,020
セグメント資産	131,940	6,185	1,652	139,778	△573	139,205
その他の項目						
減価償却費	974	22	35	1,033	△1	1,031
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,182	15	49	1,247	△2	1,244

（注） 1. セグメント利益又は損失、セグメント資産及びその他の項目の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用と同費用に係る償却額が含まれております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1株当たり純資産額	2,976円09銭	3,088円53銭
1株当たり当期純利益金額	103円46銭	120円52銭

（注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
純資産の部の合計額（百万円）	119,409	117,672
純資産の部の合計額から控除する 金額（百万円）	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 （百万円）	119,409	117,672
1株当たり純資産額の算定に用い られた期末の普通株式の数（千株）	40,122	38,099

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
当期純利益（百万円）	4,151	4,806
普通株主に帰属しない金額 （百万円）	—	—
普通株式に係る当期純利益 （百万円）	4,151	4,806
期中平均株式数（千株）	40,123	39,878

(重要な後発事象)

該当事項はありません。